

令和8年 市長年頭のあいさつ 新たな挑戦で 八戸の明るい未来を切り開く

くまがい ゆういち
八戸市長 熊谷 雄一



まず初めに、昨年12月8日深夜の地震により、被災された全ての皆様に心よりお見舞い申し上げます。また、防災直後から社会経済活動の維持に御尽力いただいた企業・関係団体の皆様、ふるさと納税などで当市を応援いただいた全国の皆様に、厚く御礼申し上げます。

このたびの地震では、幸い死者はありませんでしたが、その要因といたしましては、市民の皆様の防災意識の高さや、町内会や自主防災組織、企業、関係団体による共助が十分に機能したことによるものと考えております。改めて、日頃の備えや、地域での顔の見える関係づくりの重要性を認識したところであり、引き続き、被災された皆様に寄り添い、スピード感を持って復旧に取り組むとともに、災害に強いまちづくりを進めてまいります。

昨年を振り返って

昨年はヴァンラーレ八戸FCの悲願のJ2昇格や、児童科学館のプラネタリウム設備のリニューアルにより、鮮明な映像が楽しめるようになったこと、美術館の展覧会において過去最高の来場者数を記録したことなど、明るい話題も多くありました。



ヴァンラーレ八戸FC

令和8年に向けて

本年は、第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」が開催され、1年を通して全国から大会関係者や観客が多く訪れます。大会運営に尽力するだけでなく、当市が誇る歴史や文化、自然、食などのPR活動にも取り組み、当市に活気を取り戻す足掛かりとなるよう、市民の皆様と一緒に盛り上げてまいりたいと考えております。

また、2期目の市政運営にあたっては、9本の柱と57の重点施策からなる公約を掲げてさまざまな取り組みに着手しております。皆様におかれましては、100年先も誇れるまち「八戸」を創るため、今後ともお力添えをお願いいたします。



国スポ障スポ
カウントダウンボード除幕式

結びに、地震で被災された方々の平穏な日常を一日も早く取り戻せるよう努めてまいりますので、御理解と御協力を賜りますとともに、本年が市民の皆様にとって良き一年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶といたします。

